

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	国語
----	----

学年	1学年
----	-----

1 学習の目標

- (1) 目標や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり、聞いたりして考えをまとめましょう。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめましょう。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げましょう。

教科書・副教材等：中学国語I 伝え合う言葉(教育出版)・よくわかる国語の学習I(明治図書)・単元別漢字I(秀学社)・新しい文法ワーク(明治図書)・国語便覧(浜島書店)・国語辞典・書写道具

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学 期	ふしぎ	・詩にこめられた作者の感動を読む。	年間を通じて漢字テストを実施します。
	桜蝶	・文学作品の構成や展開を、描写をもとに理解する。	
	お気に入りの一品を紹介する	・伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	
	言葉の単位	・文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	聞き取りテストについては、定期テストとは別に学期に1~2回程度実施します。
	自分の脳を知っていますか	・文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。 ・文章の構成を捉え、要約に生かす。 ・「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。	
	資料から得た根拠をもとに意見を書く	・資料を比較して共通点と相違点を見つける。 ・考えの中心を明確にして、段落構成を考える。	夏休みには作文の課題があります。
	漢字の部首	・漢字の部首についての理解を深める。	
	日本語の音声	・日本語の音の特徴を理解する。	
	内容を整理して説明する	・聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。 ・相手の反応を見ながら、話す内容を工夫して伝える。	
	ベンチ	・本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	
	全ては編集されている/写真で「事実」を表現する	・写真を見るとき観点を知り、写真の特徴を理解する。 ・写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	
	画数と活字の字体	・画数と活字の字体についての理解を深める。	
	材料を整理して案内文を書く	・集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ・目的や意図を意識して、案内文を書く。	

	持続可能な未来を創るために一人の暮らし方を考える/「エシカル」に生きよう	・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	毛筆の授業を数回実施します。 冬休みに書き初めの課題があります。
	森には魔法つかいがある	・必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ・問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ・筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。	
	文の成分	・主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	
	根拠を明確にして意見文を書く	・意見と根拠の関係を理解する。 ・根拠をはっきりさせて、意見文を書く。	
2 学 期	広告の情報を考える	・広告を見るときの観点を知り、広告の特徴について理解する。 ・目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。	
	昔話と古典	・古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。	
	物語の始まり	・古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ・『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。	
	故事成語	・いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ・漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。	
	蜘蛛の糸	・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	
	河童と蛙	・場面と描写を結びつけて読む。	
	オツベルと象	・語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ・場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ・作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。	
	随筆を書く	・身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	
	日本語の文字	・日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	
	子どもの権利	・専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ・論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ・自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。	
	調べた内容を聞く	・自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ・相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。	
		漢字の音と訓	・漢字の音と訓についての理解を深める。
3 学 期	言葉がつながく世界遺産/地域から世界へ	・問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ・事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ・筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	
	読み手を意識して報告文を整える	・要点を簡潔にまとめる。 ・読み手の立場に立って、文章を整える。	
	単語のいろいろ	・自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理	

		解する。	
	発言を結びつけて話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ・いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。 	
	漫画で「物語」を表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画の表現の特徴について理解する。 ・漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。 	
	熟語の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成の基本的な型を知る。 	
	四季の詩	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。 	
	少年の日の思い出	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ・場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ・語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。 	
	方言と共通語	<ul style="list-style-type: none"> ・方言と共通語の特徴について知る。 	

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか。)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、国語を構成する言語文化についての知識や技能の獲得状況を、各種テストや授業中の活動(作文、スピーチなど)、書写などから評価する。	「話す・聞く」「書く」「読む」活動において、獲得した知識や技能を活用して課題を解決しようと、思考・判断・表現しているかどうかを、各種テストや授業中の活動(スピーチ、話し合い活動など)から判断する。	国語の学習活動において、自らの学習に見通しを立て、積極的かつ粘り強く取り組もうとしているかどうかを、授業中の活動や態度、提出物(ノートやワーク、ワークシートなど)から判断する。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・聞き取りテスト ・書写(硬筆・毛筆) ・ノート、プリント ・単元テスト ・小テスト ・授業中の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート、プリント ・単元テスト ・授業中の活動 ・振り返りカード ・スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物(ノート、ワーク等) ・学習態度 ・授業中の活動 ・振り返りカード

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ① 授業の準備をしっかりとしましょう。
- ② 授業開始後、最初の5分間は集中して漢字練習に取り組みましょう。
- ③ 話をよく聞き、授業に集中しましょう。
- ④ 文章の意味や内容を考えながら読み、授業に臨みましょう。
- ⑤ ワークシートや学習プリントはとても重要なので、真剣に取り組みましょう。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ① ワークシートや学習プリント・ノートなどは毎時間しっかり記入し、整理しておきましょう。
- ② 板書をそのまま写すのではなく、自分だけのノートをつくりましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ①予習・・・教科書を読み、分からない語句の意味調べをしておくといいでしょ。
 - ②復習・・・その日に学習した内容を、ノートやワークシートを見て確認しながら、国語のワークに取り組みましょ。また、授業内で覚えきれなかった漢字や、小テストで間違えた漢字を中心に練習ましょ。
 - ③宿題・・・漢字は毎週小テストを実施するので、漢字ワークや漢字ノートに練習して覚えてましょ。課題は期日を守って提出ましょ。
-

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	国語
----	----

学年	2学年
----	-----

1 学習の目標

- (1) 社会生活に必要な知識や技能を身につけ、国語を構成する言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにしましょう。
- (2) 身の回りの物事について論理的に考える力や、共感したり想像したりすることができるようにしましょう。
- (3) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしましょう。
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、国語を構成する言語社会を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を持ちましょう。

教科書・副教材等：中学国語2伝え合う言葉(教育出版)・よくわかる国語の学習2(明治図書)・単元別漢字2(秀学社)・新しい文法ワーク(明治図書)・国語便覧(浜島書店)・国語辞典・書写道具

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学 期	虹の足	・詩にこめられた作者の感動を読む。	年間を通じて漢字テストを実施します。
	質問する力をつける	・必要な情報を聞き出すために、どのような内容の質問をすれば良いか考える。	
	タオル	・描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深める。 ・登場人物の描かれ方や、物語を構成する事物の効果などについて自分の考えを持つ。	聞き取りテストについては、定期テストとは別に学期に1～2回程度実施します。
	活用のない自立語	・名詞、連体詞、副詞、接続詞、感動詞のはたらきや特徴について理解する。	
	短歌の味わい	・歌に詠まれた作者の思いを読み、様々な形で表現する。	
	記事を書く	・文章や見せ方を工夫して、読み手に伝わりやすい資料を作る。	夏休みには作文の課題があります。
	新聞の投書を書く	・身近な事柄について課題を設定し、自分の意見を書く。 ・意見を構成するために、情報を集め、取捨選択する力をつける。	
	ましがえやすい漢字	・ましがえやすい漢字についての理解を深める。	
	日本の花火の楽しみ	・説明的文章の構造を理解した上で、それぞれの文章を読み、自分の考えを持つ。	
	水の山 富士山	・文章を読む際に観点を明確にし、読み比べることができる。	
	敬語	・敬語のはたらきや特徴について理解する。	
	構成を明確にして手紙を書く	・相手に伝える内容や要件をまとめ、文章構成や段落間の関係を明確にした手紙を書く。	
	夢を跳ぶ	・自ら課題を設定し、適切な情報を選び、自分の考えをまとめる。	
	話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	
漢字の成り立ち	・六書や国字についての理解を深める。		

2 学 期	持続可能な未来を創るために 一不平等のない社会を考える ／「ここにいる」を言う言葉	・文章を読み、「持続可能な社会」の実現に向けた課題を共有し、自分の考えを書く。	毛筆の授業を 数回実施しま す。 冬休みに書き 初めの課題が あります。
	紙の建築	・事例と主張がどのように関連しているのかを捉えながら読む。	
	根拠をもとに意見文を書く	・根拠を明確にした意見文を書く。	
	活用のある自立語	・動詞、形容詞、形容動詞のはたらきについて理解を深める。	
	敦盛の最期	・作品の世界観をつかみ、人物や情景描写を意識した朗読をする。	
	随筆の味わい	・古人のものの見方や考え方に触れ、それに対する自分の考えを持つ。	
	二千五百年前からのメッセー ジ		
	坊っちゃん	・近代文学に触れ、日々の読書に活かす。	
	夏の葬列	・場面展開と時間軸の関係を捉えながら、作品を理解する。 ・物語の展開や表現の工夫などについて、自分の考えを深める。	
	漢字の多様性	・漢字の多義性について知る。	
ガイアの知性	・推論を用いた説明的文章を読み、筆者の主張を捉える。		
相違点を明確にして聞く	・話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら自分の考えをまとめる。		
3 学 期	学ぶ力	・筆者の表現の特徴を捉え、表論文を読む。 ・筆者の考えを踏まえ、自身の学びについて振り返る文章を書く。	
	付属語のいろいろ	・助詞や助動詞のはたらきについて理解する。	
	豚	・詩の構成や展開を踏まえ、詩を創作する。	
	走れメロス	・登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解する。 ・登場人物や語り手、情景描写の描かれ方について、意見を交流させながら、自分の考えを深める。	
	類義語、対義語、多義語、同音 語、同音の漢字	・言葉や漢字の使われ方についての理解を深める。	
	「連作ショートショート」を書く	・グループで共通の課題を設定し、意見や感想を交流させながら、文章を分担して書く。	

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか。)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、国語を構成する言語文化についての知識や技能の獲得状況を、各種テストや授業中の活動(作文、スピーチなど)、書写などから評価する。	「話す・聞く」「書く」「読む」活動において、獲得した知識や技能を活用して課題を解決しようと、思考・判断・表現しているかどうかを、各種テストや授業中の活動(スピーチ、話し合い活動など)から判断する。	国語の学習活動において、自らの学習に見通しを立て、積極的かつ粘り強く取り組もうとしているかどうかを、授業中の活動や態度、提出物(ノートやワーク、ワークシートなど)から判断する。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・聞き取りテスト ・書写(硬筆・毛筆) ・ノート、プリント ・単元テスト ・小テスト ・授業中の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート、プリント ・単元テスト ・授業中の活動 ・振り返りカード ・スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物(ノート、ワーク等) ・学習態度 ・授業中の活動 ・振り返りカード

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ①授業の準備をしっかりとしましょう。
- ②授業開始後、最初の5分間は集中して漢字練習に取り組みましょう。
- ③話をよく聞き、授業に集中しましょう。
- ④文章の意味や内容を考えながら読み、授業に臨みましょう。
- ⑤ワークシートや学習プリントはとても重要なので、真剣に取り組みましょう。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ①ワークシートや学習プリント・ノートなどは毎時間しっかり記入し、整理しておきましょう。
- ②板書をそのまま写すのではなく、自分だけのノートをつくりましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ①予習・・・教科書を読み、分からない語句の意味調べをしておくといでしょう。
- ②復習・・・その日に学習した内容を、ノートやワークシートを見て確認しながら、国語のワークに取り組みましょう。
また、授業内で覚えきれなかった漢字や、小テストで間違えた漢字を中心に練習しましょう。
- ③宿題・・・漢字は毎週小テストを実施するので、漢字ワークや漢字ノートに練習して覚えてきましょう。
課題は期日を守って提出しましょう。

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	国語
----	----

学年	3学年
----	-----

1 学習の目標

(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて、相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けていくとともに、話したり聞いたりして考えを深めましょう。
(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けていくとともに、文章を書いて考えを深めましょう。
(3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けていくとともに、読書を通して自己を向上させていこうとする態度をもちましょう。
教科書・副教材等 中学国語3伝え合う言葉(教育出版)・よくわかる国語の学習3(明治図書)・単元別漢字3(秀学社)・新しい文法ワーク(明治図書)・国語便覧(浜島書店)・国語辞典(各自準備)・書写道具(各自準備)

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
I 学 期	春に	・詩にこめられた作者の感動を読む。	年間を通じて漢字テストを実施します。
	立ってくる春	・文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個人的な考えをとらえる。	
	なぜ物語が必要なのか	・文章の種類と特徴について理解を深める。 ・知識や経験と結び付けて文章を読み、内容を評価する。	
	私	・読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ・文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ・作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	聞き取りテストについては、定期テストとは別に学期に1～2回程度実施します。 夏休みには作文の課題があります。
	俳句の味わい	・言葉の意味を掘り起こして読む。	
	薔薇のボタン	・目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	
	構成を考えて主張をまとめる	・社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ・自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。	
	漢字の広場I 呉音・漢音・唐音	・漢字の音の歴史についての理解を深める。	
	文法の小窓I/文法(解説)I 助詞のはたらき	・助詞のはたらきについて理解する。	

	AIは哲学できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉えているか。 ・事例や主張が適切かを考えながら読む。 ・文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。 	
	具体例をもとに説明文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ・読み手に説明するために構成を工夫する。 	
	漢字の広場2 熟字訓	<ul style="list-style-type: none"> ・熟字訓についての理解を深める。 	
	言葉の小窓1 / (解説) 1 和語・漢語・外来語	<ul style="list-style-type: none"> ・和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 	
	async	<ul style="list-style-type: none"> ・事例と主張とを関係づけて読む。 ・文章を比べ、評価しながら読む。 ・文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	毛筆の授業を数回実施します。冬休みに書き初めの課題があります。
	問いかける言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・事例と主張とを関係づけて読む。 ・文章を比べ、評価しながら読む。 ・文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	
	説得力のある批評文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を比較して、自分の考えを整理する。 ・伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。 	
	文法の小窓2 / (解説) 2 助動詞のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞のはたらきについて理解する。 	
	言葉の小窓2 / (解説) 2 相手に対する配慮と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。 	
	旅への思い	<ul style="list-style-type: none"> ・情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 	
2 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。 	
	和歌への調べ	<ul style="list-style-type: none"> ・古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ・和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。 	
	風景と心情	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ・詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。 	
	最後の一句	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	
	漢字の広場3 異字同訓	<ul style="list-style-type: none"> ・異字同訓についての理解を深める。 	
	言葉の小窓3 / (解説) 慣用句・ことわざ	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 	
	初恋	<ul style="list-style-type: none"> ・表現上の工夫に注意して、暗唱する。 	
	故郷	<ul style="list-style-type: none"> ・理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ・一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ・「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。 	
	自己PR文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ・読み手の助言を踏まえて、良い点や改善点を理解する。 	

	表現の工夫を評価してスピーチをする	・相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ・場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。	
	漢字の広場4 四字熟語	・四字熟語についての理解を深める。	
3 学 期	持続可能な未来を創るために	・持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。	
	意見を共有しながら話し合う	・相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める	
	バースデー・ガール	・自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	
	青春の歌	・現代短歌と批評を読み、短歌の世界の魅力にふれる。	
	やわらかな想い	・「記号」にどのような効果があるのかを考える。	

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか。)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、国語を構成する言語文化についての知識や技能の獲得状況を、各種テストや授業中の活動(作文、スピーチなど)、書写などから評価する。	「話す・聞く」「書く」「読む」活動において、獲得した知識や技能を活用して課題を解決しようと、思考・判断・表現しているかどうかを、各種テストや授業中の活動(スピーチ、話し合い活動など)などから評価する。	国語の学習活動において、自らの学習に見通しを立て、積極的かつ粘り強く取り組もうとしているかどうかを、授業中の活動や態度、各種提出物(ノートやワーク、ワークシートなど)などから評価する。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・聞き取りテスト ・書写(硬筆・毛筆) ・ノート、プリント ・単元テスト ・小テスト ・授業中の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート、プリント ・単元テスト ・授業中の活動 ・振り返りカード ・スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物(ノート、ワーク等) ・学習態度 ・授業中の活動全般 ・振り返りカード

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ①授業の準備をしっかりとしましょう。
- ②授業開始後、最初の5分間は集中して漢字練習に取り組みましょう。
- ③話をよく聞き、授業に集中しましょう。
- ④文章の意味や内容を考えながら読み、授業に臨みましょう。
- ⑤ワークシートや学習プリントはとても重要なので、真剣に取り組みましょう。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ①ワークシートや学習プリント・ノートなどは毎時間しっかり記入し、整理しておきましょう。
- ②板書をそのまま写すのではなく、自分だけのノートをつくりましょう。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ①予習・・・教科書を読み、分からない語句の意味調べをしておくといでしょう。
 - ②復習・・・その日に学習した内容を、ノートやワークシートを見て確認しながら、国語のワークに取り組みましょう。
また、授業内で覚えきれなかった漢字や、小テストで間違えた漢字を中心に練習しましょう。
 - ③宿題・・・漢字は毎週小テストを実施するので、漢字ワークや漢字ノートに練習して覚えてきましょう。
課題は期日を守って提出しましょう。
-